

## 第5回「大学コンソーシアム岡山」運営委員会 議事要旨

○日 時：平成18年11月28日（火）15時30分～17時00分

○場 所：岡山大学本部第三会議室（大学会館内）

○出席者：27／34

○欠席者：岡山県立大学（福島），岡山学院大学（平林），  
吉備国際大学（村本・神岡），くらしき作陽大学（川口），  
就実大学（福山），岡山経済同友会（飯田）

○陪席者：中国銀行（中島広報CSRセンター調査役）

○議 事：

木村委員長（岡山理科大学副学長）から開会挨拶後，前回議事要旨（案）の確認が行われ，原案どおり承認された。引き続き田中委員（岡山大学副学長）から，岡山大学教員が中心となって採択された，文部科学省「質の高い幼稚園教員養成」プログラムに関する新聞報道について，コンソーシアム名称との関連についての経緯説明及び誤解を生じたことについてのお詫びがあった。

○審議事項

1 平成19年度事業計画について

委員長の指名により，各事業部のリーダー等から，【資料1】に基づき平成19年度事業計画について以下のとおり説明があり，基本方針は概ね了承された。1月に開催予定の次回運営委員会に予算案を含む細部を詰めた正式な事業計画を提示することも併せて了承された。

<大学教育事業部> 【資料1-1】

- ・単位互換について，受講しやすい授業時間帯の設定や方法論も含め，改善していく。平成18年度の実績を踏まえ，予算計上しない。
- ・高大連携について，7大学の入試広報担当者によるWGを3回開催し，企画会議を経て「大学コンソーシアム岡山合同入試説明会（仮称）」を計画した。先の企画会議で目的部分に数値目標を掲げること，高校側の意向を反映した実施時期とすること，企画(案)を具体化することについて要請があったため，計画を若干見直した。数値目標については各大学に県内出身者の割合等を照会したいと考えている。
- ・5つの企画（案）は例示であり，細かい内容はこれから検討していく。高校側からは高校生に刺激となるような，たとえば学問の面白さや勉学の意義をテーマとした企画を期待する声があった。現在7大学で構成するWGを15大学に拡大することを考えている。
- ・会場は利便性を重視した。また，要員の面での各大学の負担軽減と運営・広報の充実を図るため，教育関係業者の協力を仰ぎたい。
- ・110万円の予算を計上しているが次回運営委員会までに再検討する。
- ・eラーニングについて，平成19年度は15大学の現状を把握した上

で、ソフト及びハードの基盤整備をどう進めていくか資料を整理したい。  
平成19年度は調査・検討を主に行うため、予算計上しない。

＜社会人教育事業部＞【資料1-2】

- ・平成18年度シティーカレッジの反省点・問題点を踏まえて平成19年度の具体的な事業計画を策定し、次回運営委員会に提示する予定である。
- ・平成18年度の主な問題点として、「15大学の協同」による市民向け講座という前例のない試みであったため試行錯誤的に開始したことや、社会人のニーズ調査が十分でなかったこと、「コンソーシアム」や「シティーカレッジ」が市民に浸透していなかったことが挙げられる。
- ・平成19年度は曜日時間帯、開講場所を固定し、統一テーマを決めて講師を人選する等、各大学実施の公開講座とは異なる、15大学が一体となって実施するシティーカレッジのイメージを市民に定着させる必要があると考えている。

＜産学官連携事業部＞【資料1-3】（※木村委員長による代理説明）

- ・「キャリア形成講座」は水曜夜間講座と木曜午後講座の2講座で計4コマ実施する。
- ・「ちゅうぎん金融知力講座」は18年度同様、前期に1コマ実施する。
- ・「秘書検定2級取得講座」を1コマ実施する。現在のところエクステンション科目を想定しているので単位付与なしとする予定である。ただし、主幹大学を決めて単位互換の対象とする可能性もある。次回運営委員会までに検討する。
- ・産学官連携事業部として約150万円を予算計上したい。

2 事業部及び事務局体制について

委員長から以下のとおり説明及び依頼があり、各委員が大学に持ち帰り検討することが了承された。

- ・平成19年度は会長校である岡山大学に引き続き事務局をお願いしたい。については、次回運営委員会にはそれを前提に予算案を含め、提示する予定である。
- ・平成20年度以降の事業部及び事務局体制について、来年度の早い段階から検討していかなければならない。事務局体制については会長校持ち回りとするのか外部に事務局を設置するのかという問題、事業部体制については事業部リーダー所属大学に事業部の企画立案執行をお願いするのかどうかという問題がある。

○報告事項

1 まなびピア岡山2007プレフェスティバルについて

委員長から11月3日（金）に開催された同フェスティバルにおいて、本コンソーシアム学生企画の一環として企画会議で了承された岡山理科大学児童文化部による「紙ひこうきの飛ばし方」ブースを出展した旨報告があった。

## 2 岡山大学GPフォーラムについて

委員長の指名により、田中委員（岡山大学）から11月3日（金）に開催された同フォーラムでの大学生と高校生によるフリートーク（本コンソーシアム共催企画）について報告があった。

## 3 「教育フォーラム」について

委員長の指名により、今西副委員長から11月19日（日）に開催された「教育フォーラム」（岡山経済同友会主催）について報告があった。

## ○その他

### 1 短大の参画について

委員長の指名により、松畑副会長から以下のとおり説明があった。

- ・正会員として入会してもらいたいが、難色を示す短大もある。
- ・ぜひとも県下の全短大及び高専に入会してもらいたいで、まずは「特別会員」として入会してもらい、あとで正会員となってもらうことも現実的な方法と考えている。
- ・運営委員会で議論してもらいたい。

### 2 岡山県文化連盟からの提案について

委員長から、【資料2】に基づき、同連盟からの提案について以下のとおり説明があった。

- ・平成22年度に岡山県で開催される「第25回国民文化祭」を支える「おかやま文化ボランティアコーディネーター」の育成が目的である。
- ・主催は同連盟であり、本コンソーシアムとしても「共催」という形で協力したいと考えている。
- ・単位化できるかどうかも含めて検討を要する。

### 3 ボランティア・プロフェッサーについて

委員長の指名により、今西副委員長から以下のとおり説明があった。

- ・現在は岡山経済同友会が窓口となり、岡山大学経済学部及び岡山商科大学が実施している。
- ・来年度以降の実施をどうするかについて岡山経済同友会の会議において双方の担当者を交えて協議したところ、岡山大学経済学部は独自に継続していくが、岡山商科大学はカリキュラムを組んで本コンソーシアムの単位互換に提供してもよいというスタンスであることが確認された。

### 4 学生交流事業部について

委員長から、企画会議において本コンソーシアムにも学生が入る事業部が必要であるとの観点から、「学生交流事業部」を設置する方向で具体案を検討している旨説明があった。

※次回開催予定は平成19年1月下旬（日時・場所未定）